

国土交通省政策会議（第9回）議事要旨

1. 日時 平成22年1月26日（火）8：00～9：00

2. 場所 衆議院第二議員会館 第1会議室

3. 出席者

【国土交通省】馬淵澄夫副大臣、辻元清美副大臣
長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官

4. 議題

- ・通常国会提出予定4法律案について
- ・その他（ハッ場ダム関係地元住民と国土交通省との意見交換会について）

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

- 配付資料に沿って説明
- 質疑

（3）出席議員からの主な意見

【通常国会提出予定4法律案について】

○排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律案

- ・竹島は、過去に退去要求を行っていると思うが、最近は交渉するなどの動きがない。この状況で、竹島に（低潮線保全区域を）定めなくて良いか。主張すべき時に主張するのが外交の基本ではないか。
- ・尖閣は本法案の対象となっているか。
- ・やむを得ない海域とは具体的にどこか。また、特定離島とはどこか。

【その他（ハッ場ダム関係地元住民と国土交通省との意見交換会について）】

- ・現在、生活再建対策については、現行のダム事業で予算化しているが、特定多目的ダム法の範囲で生活再建を考えることは難しい。今後の生活再建の方策について、早急に議論して、地元を示すべき。
- ・生活再建のための法律や、事業を確定することも重要であり事業手続法や

住民参加等が必要なのではないか。

- ・ 湖面 1 号橋は本当に必要なのか。
- ・ ダム事業を中止した場合の生活補償をどのように考えているか。
- ・ ハッ場ダムの砒素問題について、砒素の調査が不足している。住民感情も大事だが、調査地点を増やすなどの対応はしておくべきではないか。
- ・ 報道は鵜呑みにしてはいけない。1 都 5 県は既に飲料水として利用している。

～以上～